

# 「憲法9条改悪」阻止に向け 総決起しよう!!



(組合員の購読料は  
組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5  
交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 大沼 元  
編集責任者 樋口孝重

No. 805 定価 20円

2018年

5月28日

仲間の信頼  
かに変えて  
さあ踏み出そう  
組織の拡大へ



QRコードから  
でも閲覧できます  
<http://www.e-nru.com/>

## 千葉地方本部 国労加入 歓迎会 4月23日 開催!

5月3日の憲法記念日に有明臨海公園で「9条改悪NO! 平和といのちと人権を! 5・3憲法集会」が開催され、「憲法9条改悪」は絶対に許さないとい6万人(主催者発表)が参加。「安倍内閣退陣」「9条改悪NO!」とシュプレヒコールを挙げてアピールしました。



5月3日に有明臨海公園で開催された「9条改悪NO! 平和といのちと人権を! 5・3憲法集会」に6万人の仲間が集まりました。国労も参加し、現在国会で審議されている労働法制の改悪阻止、森友・加計問題等、安倍政権を退陣に追い込み、改憲発議を止める決意を固めました。  
今号は、5・3憲法集会、千葉地本加入歓迎会、国労議員団関東プロジェクト会議、国労東日本本部乗務員勤務プロジェクト会議の報告をします。

5月3日の憲法記念日に有明臨海公園で「9条改悪NO! 平和といのちと人権を! 5・3憲法集会」が開催され、「憲法9条改悪」は絶対に許さないとい6万人(主催者発表)が参加。「安倍内閣退陣」「9条改悪NO!」とシュプレヒコールを挙げてアピールしました。

また集会では、①沖縄の基地問題、②フクシマ原発問題、③全国に広がる高校生平和大使からの報告、④教育と教科書統制問題、⑤朝鮮高校だけ無償化から外されている問題、⑥政府が進める武

実行委員会の高田健氏から「改ざん・隠ぺい、文民統制、セクハラなど憲政史上最低最悪な安倍政権下での改憲に58%が反対。私たちの力で倒す他ない」と力強い挨拶があり、続いて作家・学者・市民の皆さんや列席した各政党の党首からも連帯の挨拶を受けました。

器輸出入問題、⑦貧困・格差が進む問題、⑧経営団体の意向に沿った働き方改革、とりレイトークが行われました。  
3000万人署名報告では「4月末時点で1350万人を突破。この広がりから9条改憲の歯止めになっている。3000万人を集め切り、改憲発議を止めよう」と呼びかけました。



4月1日付で国労加入した成田駅・北村智之さん(37歳)の加入歓迎会が、4月23日に千葉地本主催で開催されました。

歓迎会は司会の井村副委員長が「北村さんの加入に際し、この歓迎会を通じて職場の中で守り、支えていく意思統一の場に」と挨拶をし、地本を代表して榎尾委員長が「加入してくれた北村さんの決意に感謝するとともに、若い仲間が職場の中で精いっぱい活動していけるよう、労働条件の確保を含め、バックアップできる運動を確認しなければならぬ。最近では『生産性向上』がうたわれているが、働く者の賃金や働く環境が悪化させられることのないよう、労働組合として要求や運動を通じて守っていく必要がある。加入してくれた思いを受け止めて、今後大切となる職場の中で運動を作っていく決意の場としたい」と挨拶をしました。

来賓の東日本本部・大沼委員長は「今回の拡大に際しての地本や分会の取り組みへの感謝と共に、今後も継続できるよう東日本本部としても支援をしていきたい。20代・30代の若者の加入も続き、『国労も選択肢の一つ』という考えが職場に広がっている。さらに大きな流れとするために、地本と連携を取り、次に続く仲間を迎えらるるよう奮闘していきたい」と激励の挨拶をしました。

最後に安田副委員長が「お客さまのありがとうに込められる、より良い職場環境づくりと一緒に作っていききたい」と述べ、歓迎の国鉄労働組合歌を歌いあげ、閉会しました。

榎尾委員長より国労バッジと手帳を贈呈され、北村さんから「仕事を教えてくれたのは国労の先輩たち。前から国労に入りたかったがなかなか現実に至らなかった。今の情勢はチャンスだと先輩をはじめ、国労の皆さんに相談して加入することができた。先輩たちの思いを引き継ぎながらがんばっていききたい」と加入にあたっての温かい関わりにお礼が述べられました。

加藤書記長から「以前、南船橋駅で一緒に仕事をしていた時、国労の掲示物をずっと眺めている北村さんを見て、いつかこういう日が来ると期待していた。まだまだ何回も歓迎会を行えるように頑張りたい」と乾杯の挨拶があり、全体で懇親を深めました。

# 国労議員団 関東ブロック会議

4月15日  
~16日 開催!



関東ブロック国労議員団会議

治をめぐる動向、18春闘の闘いの経過やJR東日本の労組問題についての挨拶を受け、地元東京地本・鎌田委員長から歓迎の挨拶と東京地本内での組織拡大への取り組みの報告がされました。

議題に入り、「国労東日本のこの間の取り組みと課題」として、伊藤書記長から、①18春闘の総括。JR7社の回答と今後の課題、②JR東日本の現状や社員の年齢構成と技術継承、「合理化」の経過と最近の安全問題、③JR東労組の大量脱退など組織問題の経過や現状分析と組織拡大に向けた活動などについて、報告を受け、質疑もを行いました。

その後、参加各議員から「議会報告」などの資料をもとに、地域の課題やJRの安全問題や選挙での闘いの報告、地域での活動報告など、交流と意見交換を行いました。

古畑塩尻市議から「松くい虫や鳥獣被害問題」、初当選の宮川長野県麻績村議は「昨年9月の村議選の闘いと篠ノ井線沿線のまちづくり」、田口松本市議は「脱原発のまちづくりやチェルノブイリとの交流」、井坂ひたちなか市議は「東海第二原発廃炉への闘い」、狩野いわき市議は「福島第一原発の廃炉作業の健康問題や労働条件の闘いの支援」、本池柏市議は「男女平等への活動とホットスポット放射能被害との闘い」、青山昭島市議は「米軍横田基地オスプレイ反対の闘いと市職員削減反対の闘い支援」、河野新宿区議は「首都直下地震から生命を守るまちづくりや安倍内閣の改憲を許さない国会周辺への集会」などそれぞれ報告されました。

その後、全員で集合写真を撮り、懇親会で交流を深めました。翌日は、近隣を視察して、昼食後に解散となりました。

今回の議員団会議については、来年4月に統一自治体選挙が実施されることから、20年4月の開催予定としました

（河野事務局長記）

## 国労東日本本部 乗務員勤務 プロジェクト

JR東日本の  
1万1550人の乗務員  
が共通する乗務員勤務  
運用されてすでに26年!  
改善を求め声は  
急務となっています!!

2017年4月現在、車掌5200人・運転士6350人、合計1万1550人の乗務員が、1日約1万2000本の列車で、約1700万人のお客さまを、安全に安定して運んでいます。

乗務員勤務は、不規則性・連続性が伴い、また一人勤務という特殊性もあり、その運用は複雑で理解するのも大変です。

現在の職場実態として「待機予備もなく、輸送障害時の継続乗務、睡眠時間の短縮」「年休取得のための休日出勤などで、JR東日本全体の車掌約350人・運転士約370人の要員不足（組合試算）が明らかとなっています。

この間、運転協議会を中心に車掌も参加して、国労東日本本部乗務員勤務プロジェクトを設置。全乗務員区の行路実態、勤務学習会、乗務員勤務Q&Aの作成、三大要求のピラ作成などを行い、乗務員勤務の改善に取り組んできました。とりわけこの3年間は、申1号『労働条件に関する協定』改訂についての申し入れの中で、乗務員勤務について会社と集中的に議論をしてきました。

特に、①待機予備、②労働時間管理、③乗務時間の規制、④設備改善、⑤三大要求（寝る・食べる・トイレ）について、現場の実態を踏まえて改善を強く求めてきました。

### 申1号の交渉直後に、 乗務員勤務の 見直し提案される! 食事時間と在宅休養時間の改善をはかる!!

4月12日の申1号・乗務員勤務についての団交を行った後、5月17日に会社から「乗務員勤務の見直しについて」が提案され、私たちが強く求めてきた食事時間と在宅休養時間の改善がはかられました。

今後、団体交渉や社員説明が行われます。乗務員勤務プロジェクトでは、この間寄せられた要望や意見を会社に求めて働きやすい職場を目指していきます。



お詫びと訂正  
前号804号のJR採用者学習交流会の記事の中で、講師の「海渡双葉弁護士」の氏名を誤って記載してしまいました。お詫びして訂正します。

### 呼びかけ ティッシュの 活用を!

国労は、JR・JRグループ会社で働く仲間の労働条件の向上を目指して会社に要求しています。

呼びかけティッシュを活用して、一人でも多くの仲間、国労加入を訴えましょう!

### アフラック 最新のがん保険、 新登場。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金  
NEW/ 生きるためのがん保険 Days

女性特有のがんにも手厚い  
NEW/ 生きるためのがん保険 Days

はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)  
アベニール株式会社  
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

©商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。  
(引受保険会社)  
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)  
東京第二法人営業部  
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F  
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036  
AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日